つくば市議会議員 第1期

活動通信

伊藤 ふみや

2026.11
VOL.05







市議会議員として5回目の活動報告をお届けします。2024年10月の初当選から2年が経ち、4年間の任期も折り返しを迎えます。日々の活動を支えてくださる皆さんに、心から感謝しています。

最初の1年は、議会の流れを覚え、私が議員になる前から積み重ねられてきた議論の会議録を読み会議録を読み、現場のお話を伺いながら理解することから始まりました。何をどう提案すればよいのか、手探りの毎日でした。

2年目は、活動報告と毎週の音声配信で、考えていることをお伝えできるようになりました。言葉にして表に出すことで、情報をくださる方、一緒に考えてくださる方が増え、地域で担う役割も増えました。いただいた声のいくつかは、市の制度や身近な場所の変化という形になりはじめています。活動の土台が、少しずつ整ってきたと感じています。

今号では、この2年間の議会での歩みと、並木まつりや児童館のキャンプ、並木幼稚園の跡地など、地域でご一緒している皆さんとの時間をまとめました。3年目は、この土台の上で、もっと動いていきたいと思っています。気になることや困っていることがあれば、これからも、お気軽にお声がけください。

議会活動

\ 4年任期の折り返しを迎えました /

議員就任後8回、すべての定例会議で一般質問に立ちました

一般質問の映像はこちら

時期	テーマ	取り上げたこと
2024年12月	不登校支援、市役所のカスタマーハラスメント対策	スクールカウンセラーの活用、フリースクール利用料補助の支給時期の改善、職員を守る仕組み
2025年3月	障害のある人の地域生活	余暇活動の支援、移動支援の見直し、グループホームの家賃助成
2025年6月	校内フリースクール、生成AIの活用	校内フリースクールの運営方針の共有、民間フリースクール補助の運用、市役所での生成AIの活用
2025年9月	ひきこもり状態にある方への支援	国の支援事業の活用、短い時間から働ける仕組み
2025年12月	農業の持続と、学校給食の地産地消	契約栽培による給食への地元食材の活用
2026年3月	児童発達支援センター	地域全体の支援の質を高めるハブ機能、共働き世帯にも届く利用の形
2026年6月	重層的支援体制整備事業	分野をまたぐ相談を受け止める体制づくり
2026年9月	ごみ減量と将来の財政負担	草木や事業所の紙を資源にする仕組み

いただいた声が、形になってきました

皆さんからいただいた声を、一般質問や要望として市に届けてきました。ここに挙げたのはその一例で、市が以前から進めていたものや、まだ動いていないものもあります。

障害のある人の余暇

余暇を楽しむ機会が少ない

2025年3月の一般質問で、余暇活動の支援を提案 ▶ 2026年度から、市の余暇活動支援事業が始まりました

移動支援

移動支援を頼んでも、事業所に断られてしまう

2025年3月の一般質問で、移動支援をより使いやすいサービスにするための見直しを提案 ▶ その一つとして、2026年4月から市の基準単価が一律10%引き上げられました。担い手の確保など、引き続き使いやすくするための見直しを求めています

児童発達支援センター

親子で通う形だけでは、働きながら利用できない

2026年3月の一般質問で、親子通所以外の選択肢を提案 ▶ 年4月開設のセンターで、医療的ケアのある子は単独通所も選べる形に。発達に遅れのある子についても検討が進んでいます

不登校支援

校内は学校ごとに運営が違う／民間は補助金の振り込みが遅い

2024年12月と2025年6月の一般質問で提案 ▶ 校内フリースクールの運営の指針が公開され、保護者にも共有 されるようになりました。補助金も「振り込みが早くなった」と、保護者の方から声をいただきました

成人式

特別支援学校の卒業生にも、成人式のお祝いを同じように

特別支援学校の卒業生にも、お祝いメッセージが届くよう市に要望 ▶ 次の成人式から届けられる見込みです

身近な場所の修繕

ベンチが壊れている、テニスコートにひびがある

公園や体育館の修繕を市に要望 ▶ 桜南スポーツ公園のベンチと歩道の修繕が実現。かつらぎ公園のテニスコートの補修も進んでいます

地域活動

この2年で、関わる場が増えました

議員としてだけでなく、地域の一人として関わる役割が、この2年で少しずつ増えてきました。その一部をご紹介します。

並木まつりの実行委員



30年以上、地域の手で続いてきた並木まつり。昨年から実行委員に加わり、今年は10月11日の設営から翌日の片付けまで参加しました。
当日は150人を超えるボランティアの皆さんが会場を支え、実行委員会のクラウドファンディングも目標の20万円を達成しました。関わってくださった皆さん、ご支援くださった皆さん、ありがとうございました。

障害のある人の余暇活動を考える会



2026年4月に発起式を開き、その後は2か月に1回、セミナーを続けています。スポーツ、文化芸術、相談支援の現場からと、回ごとにテーマを変え、当事者・家族・支援者・市が同じ会場で話し合います。つくば市の障害のある人の余暇について、立場を越えて一緒に考える土台ができてきました。これからも回を重ねながら、輪を広げていきます。

並木幼稚園の跡地

閉園した並木幼稚園の跡地について、4月の説明会には100人を超える方が集まりました。
地域にとって大切な場所をどのような形で生かしていけるとよいか、地域の皆さんや市の執行部と話し合いを続けています。
並木幼稚園の思い出をお持ちの方も、これからの使い方にご意見のある方も、ぜひお聞かせください。皆さんの声をもとに、跡地の活用を考えていきます。

どんぐりクラブの親子キャンプ



並木児童館の父母の会「どんぐりクラブ」で、8月1～2日、13世帯・約50人の親子キャンプに行きました。飯ごう炊さんに花火、朝の広場で走り回る子どもたち。並木に、こうしてつながる場があることがうれしく、私自身もこの活動をもっと盛り上げていきたいと思っています。

ひきこもり支援の話し合い

2025年9月の一般質問で取り上げて以来、ご家族や支援に携わる方からご連絡をいただくようになりました。議会で一度取り上げるだけでは前に進まないと感じ、2026年6月から、関係者との話し合いを2か月に1回続けています。ひきこもりの状態にある方は、年齢も、困っていることも、必要な支えも一人ひとり違います。時間をかけて声を聴きながら、現場の方々と一緒に、一人ひとりに合った支援の形を考えています。

市だけでは解決できないご相談は県とつないで



皆さんからのご相談には、特別支援学校や県立高校、県道、生活道路の速度規制など、県の仕事に関わるものもあります。相談させていただいているのが、つくば市選出の**茨城県議会議員、鈴木 将（すずき まさし）さん**です。

区域ごと時速30キロにし、標識や路面表示で分かりやすく示す「ゾーン30」も、鈴木県議が地元の皆さんと進めてきた取り組みです。私が所属する会派「つくばクラブ」も鈴木県議と連携しながら活動しています。これからも、県に関わることは力を合わせて、必要なところへお声を届けていきます。



LINE公式アカウントで発信中！
お問い合わせもこちらから

登録はこちら

週に1回、音声で活動をお伝えしています。SNSでも日々の活動を発信しています。ご意見やご相談も、こちらからお気軽にお寄せください。

一緒に活動してくださる方を募集しています

この活動報告を、ご自宅の周りに届けてくださる方。
100枚程度を目安に、枚数や範囲はご相談ください。配布用の地図をお渡しします。

活動を一緒に考え、手伝ってくださる方も歓迎です。3年目・4年目に向けて、仲間を増やしたいと考えています。LINEで「配布協力」または「一緒に活動」とお送りください。

伊藤 ふみや PROFILE

1988年5月31日生まれ。筑波大学理工学群化学類に進学。議員インターンシップを通じて、現つくば市長五十嵐立青のもとで活動し、農業と福祉の問題に取り組む。大学卒業後、五十嵐とともにNPO法人つくばアグリチャレンジ（現NPO法人ユアフィールドつくば）を設立し、ごきげんファームをスタート。現在は4カ所のごきげんファームに加えて、障害のある人たちのグループホームを展開。世界の傑出した10人の若者として国際青年会議所のTOYP（Ten Outstanding Young Persons）を受賞。社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師、保育士、中小企業診断士の資格を持つ。スクールソーシャルワーカーとして活動経験があり、現在は保護司としても活動。つくば市並木在住。2024年つくば市議会議員選挙で初当選。現在、福祉保健委員会の副委員長と最終処分場に関する調査特別委員会の委員長を務める。



SNSでも情報発信中！

WWW. note

住所：茨城県つくば市並木2-11-37　tel：070-8924-7241　mail：support@itofumiya.com